

長崎県立長崎特別支援学校

実態把握チェックリスト

氏名（ ）

実態把握チェックリストについて

自立活動の指導にあたっては、学習指導要領に示されているように、個々の児童生徒の実態を的確に把握し、個別に指導の目標や具体的な指導内容を設定する必要がある。また、児童生徒の実態把握に基づき、長期的及び短期的な観点から指導のねらいを設定し、それらを達成するために必要な指導内容を段階的に取り上げる必要がある。障害の重度・重複化、多様化する児童生徒の一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行うためには、個々の児童生徒の障害の状態や特性、発達段階や経験の程度、生育等を的確に把握する手続きが求められる。

本校の児童生徒の実態を多面的にかつ的確に捉えるようにするために、自立活動の6区分に対応した実態把握チェックリストを作成した。6つの区分の中に指導事項を<>で表しており、指導事項に対応させたチェック項目を健康の保持：74、心理的な安定：43、人間関係の形成：91、環境の把握：142、身体の動き：147、コミュニケーション：88と計：585のNoで整理した。最大の特徴は「健康の保持」以外は、おおよその発達年齢ごとに整理しており、児童生徒がどの程度の発達段階に課題があるかを把握でき、1歳までのチェック項目は3か月単位で細かくチェックできるようしている。発達年齢については、引用・参考文献、発達検査にも幅があるため、児童生徒のおおよその発達段階を捉える目安にして欲しい。また、別添の発達段階評価表を用いることで、発達の横軸との関連を探る手がかりにもできる。

しかし、児童生徒の実態によってはこのチェックリストだけでは不足する視点もあると考えられる。それを補うためにも、他の発達検査やアセスメント等との併用を勧めたい。チェックリストの活用が個別の指導計画のP D C Aの充実及び指導の手がかりの一助となれば幸いである。

平成23年4月5日 満開の桜を眺めながら

◇目次・指導事項一覧◇

◇健康の保持	1
<覚醒と睡眠><体温の調節><脈拍><呼吸・排痰><食事><排泄><清潔・衛生>	
<周囲の状況や危険への対応><病気の予防・健康状態の把握>	
◇心理的な安定	4
<情緒><気持ちの安定><注意の集中>	
◇人間関係の形成	6
<自己意識><人や物との関係（二項～三項関係）><模倣><集団活動への参加>	
◇環境の把握	9
<感覚（視覚）><感覚（聴覚）><感覚（体性感覚）><知覚><認知><探索>	
◇身体の動き	13
<筋緊張><反射（原始姿勢反射）><頭部と体幹の保持><寝返り・四つ這い位><座位>	
<膝立ち位><立位><歩行><階段昇降><握る・つまむ><上肢の操作>	
<日常生活動作（食事動作・排泄動作）>	
◇コミュニケーション	19
<表出（発声・発語）><表現（会話）><表現（構音器官）><言語理解（語彙）><伝達>	

◇実態把握チェックリストの活用について◇

※年度の1回目のチェックは黒で、2回目のチェックは赤で記入をする。

※児童生徒ができるものは○、まだできないものは×、やってない（見られない）は△で記入をする。

また、年度の学習課題には◎をつける。

※巻末の発達段階評価表は、できるもの及びできるようになったNoを塗りつぶす。

◇健康の保持

＜覚醒と睡眠＞			年		年		年	
NO	チェック項目／備考		Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
1	学校生活の中であまり寝ることはない							
2	はっきりと目覚めた状態でいつも学習できる							
3	覚醒と睡眠のリズムが安定しており、十分な睡眠がとれている							
(備考) 原因：昼夜逆転・低体温・抗けいれん剤の服用・疲労・夜間の睡眠障害・その他								
＜体温の調節＞			年		年		年	
NO	チェック項目／備考		Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
1	外気温に左右されても保温やクーリングをすると体温が平常値に戻る							
2	保温をすると四肢末端部に冷感が見られない							
3	外気温によって体温が左右されない							
4	血行がよい							
(備考)								
＜脈拍＞			年		年		年	
NO	チェック項目／備考		Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
1	はっきりと脈がとれる							
2	脈拍が安定している							
3	姿勢変換や運動の後、脈拍数の変化があるがしばらくすると平常値に戻る							
(備考) 脈拍の強さ・リズム・速さ： はっきりと脈拍がとれる場所：								
＜呼吸・排痰＞			年		年		年	
NO	チェック項目／備考		Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
1	喘鳴がない							
2	努力して呼吸をしていない							
3	姿勢が安定していれば呼吸の乱れは見られない							
4	一定のリズムで呼吸ができ、呼吸援助が必要ない							
5	姿勢の変化があっても気道は確保されている							
6	痰のからみが日常的には見られない							
7	痰や分泌物が多くても、援助などによって痰を出すことができる							
8	痰や分泌物を自力で出したり、飲み込んだりすることができる							
(備考) 状態：陥没呼吸・チアノーゼ 原因：咽頭狭窄・下頸後退・舌根沈下								
(備考) 排痰方法：水分摂取・去痰剤の服用・吸入・吸引								
＜食事＞			年		年		年	
NO	チェック項目／備考		Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
1	過敏がない							
2	経口摂取が可能である							
3	スプーンや食べ物を口に運ぶと口を開けようとする（食への興味）							
4	適度な大きさに口を開けることができる							
5	むせずにペースト状の食べ物を飲み込むことができる							

6	上唇を下ろしてスプーンから食べ物を取り込むことができる						
7	口唇を閉じたままペースト状の食べ物を舌で送り込み、飲み込むことができる						
8	柔らかい食べ物（プリン・絹ごし豆腐※中期食）を舌と上顎で押しつぶすことができる						
9	中期食の取り込みから嚥下まで口を閉じたまま処理できる						
10	普通食の食べ物を繰り返し歯列の上に乗せ、すりつぶすことができる						
11	唾液と混ぜ合わせ、食塊を形成できる						
12	普通食をむせずに安全に飲み込むことができる						
13	水分にとろみをつけて飲むことができる						
14	水分をそのままスプーンやコップから一口飲みができる						
15	水分をコップから連続飲みができる						
16	水分をストローで飲むことができる						

(備考) 過敏の場所：手・肩・首・頬・口周辺・口唇・口腔内

原因：未経験・過敏・鼻呼吸未獲得・嚥下障害・口蓋裂などの形成上の要因

口の開け方：過開口・口が開かない・その他（ ）

食形態：初期：経管栄養と併用、ドロドロ～ペースト状

中期：舌で押しつぶせる程度の柔らかさ、プリン・豆腐など

後期：歯茎でつぶせる程度の柔らかさ、煮魚・マッシュポテトなど

完了期：普通食

<排泄>

NO	チェック項目／ 備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
1	オムツ又は全介助である						
2	排泄したとき表情や態度が変わる						
3	水分摂取・発汗量などにより、排尿の量や間隔が大きく変化することはない						
4	定時排泄ができる						
5	尿（便）意を何らかの手段で伝えることができる						
6	日常使用している便所であれば、援助を受けて排泄できる						
7	日常使用している便所であれば、指示を受けて自分で排泄できる						
8	日常使用している便所であれば、一人で排泄できる						

(備考) 便秘時の対応：緩下剤の服用・浣腸

補助具の使用：寝便座・座位保持型便座・手すり

排泄時の一連の動作を処理する能力も含む

<清潔・衛生>

NO	チェック項目／ 備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
手洗い	1 水を流してもらうと水に手を出すことができる						
	2 水を出してもうと手をこすり合わせて洗うことができる						
	3 自分で手洗いと蛇口の開閉ができる						
	4 自分で手洗いした後、タオルで拭くことができる						
	5 必要に応じた手洗いができる						
歯磨き	6 援助を受けて歯を磨いてもらうとき口を開ける						
	7 手を添える援助で歯を磨くことができる						
	8 雑ではあるが自分で歯を磨くことができる（要仕上げ）						

うがい	9	うがいの水を吐き出せずに飲み込んでしまうことはない					
	10	うがいの水を流し出すことができる					
	11	必要に応じて自分でうがいができる					
鼻汁の始末	12	鼻汁に気づいている					
	13	鼻汁が出ていると手や腕でぬぐう					
	14	ティッシュをもらうと鼻汁を拭くことができる					
	15	ティッシュをあててもうと鼻をかむ					
	16	指示されるとティッシュをあてて鼻をかむ					
	17	必要に応じて鼻をかむ					
涎の始末	18	涎に気づいている					
	19	涎が出ていると手や腕でぬぐう					
	20	指示されるとタオルやハンカチで涎を拭く					
	21	必要に応じてタオルやハンカチで涎を拭く					

(備考)

<周囲の状況や危険への対応>

NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
1	食べ物とそうでない物の区別ができる						
2	安全な物と危険な物の区別ができる						
3	自分で温度・湿度・明るさを調節できる						
4	床や足元の色や形状の違いに気づくことができる						
5	段差や溝などの高低差に気づくことができる						
6	人や車など危険な場面や状況に対して回避することができる						

(備考)

<病気の予防・健康状態の把握>

NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
1	好き嫌いをせず、バランスよく食べることができる						
2	積極的に運動することができる						
3	自分で薬の服用ができる						
4	自分の健康状態を把握している						
5	自分の障害の状態を把握している						

(備考) 健康や身体各部位の状態：①てんかん発作・喘息・アレルギー体质・心疾患・泌尿器系疾患・BMI・その他

②側わん・股関節脱臼・骨折・褥瘡・その他

(日常生活からの気づき)

◇心理的な安定

＜情緒＞				年		年		年	
発達年齢	NO	チェック項目／備考		Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
↑ 0:03	1	泣いていても抱き上げられると落ち着くことができる							
	2	空腹時など不快な時に、違う泣き方や不快な表情を表すことができる							
	3	嬉しいときに快の表情を表したり一人笑いをすることができる							
	4	人の顔であれば怒った表情を見ても笑う							
↑ 0:06	5	気に入らないとむづがって怒りを表出す							
	6	「いいいいいいバー」を喜ぶ							
	7	怒った表情をすると、じっと顔を見て表情を変えることができる							
↑ 0:09	8	見知らぬ人に対して恥ずかしがったり顔をそむけたり、泣き出したりすることができる							
	9	欲しい物が得られないと「ウーン」などといって怒りを表出す							
↑ 1:00	10	人がふざけあってるのを見て笑う							
	11	手に持っている玩具などを取り上げると泣く							
↑ 1:06	12	身近な人がいなくなると泣いたり不安がったりする							
	13	褒められると何度も同じ動作を繰り返す							
↑ 2:00	14	怖い顔をしてみせると泣き出す							
	15	本を長い間見て楽しんだり、玩具で遊んだりすることができる							
↑ 2:06	16	ちょっとした面白い動作をみて喜ぶ							
	17	暗いところでは恐れる様子を見せる							
↑ 2:06	18	叱られるとふてくされる様子を見せる							
	19	新しい服、玩具などを自慢して見せる							
↑ 3:00	20	年下の子どもに愛着を示す							
	21	自分ができたことを盛んに自慢する							
↑ 3:06	22	怖い感じのする人を恐れる							
	23	同年齢の子どもに愛着を示す							
↑ 4:00	24	5分ぐらいの長さの物語を静かに聞くことができる							
	25	「こうしていい」と許可を求めることができる							
↑ 4:06	26	おばけ、幽霊などの空想的な物を恐れる							
	27	みんなの前で発表することができる							
↑ 5:00	28	言われなくてもおおよそ「ごめんなさい」と言える							
	29	人の物を使うときは「貸して」と許可を求めることができる							
↑ 5:06	30	「楽しい」「好き」「怒り」など自分の感情を言葉で表すことができる							
	31	物語の一部を自分で演じることができる							
(備考)									
＜気持ちの安定＞				年		年		年	
発達年齢	NO	チェック項目／備考		Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
	1	自傷行為が見られない							
	2	他傷行為が見られない							

3	常同行動が見られない					
4	独語や話しかけられた言葉をそのまま返すこと（エコラリア）などが見られない					
5	はっきりした理由もなく動き回ることが見られない					
6	物事にこだわって固執することはない					

(備考)

＜注意の集中＞		Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
NO	チェック項目／備考						
1	背後・横・正面からの援助を受け入れることができる						
2	大人と向き合ってやりとりしながら課題に取り組むことができる						
3	姿勢を一定にして10秒以上机上の課題に取り組むことができる						
4	落ち着いて、一人で（食事の時など）いすに着席することができる						
5	起立や着席を一人で行ったり、大人と一緒に歩調を合わせて歩いたりすることができる						
6	自ら学習や作業をしやすい環境を作ったり、改善したりすることができる						

(備考)

(日常生活からの気づき)

◇人間関係の形成

＜自己意識＞			年		年		年	
発達年齢	NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
↑ 0:03	1	自分の手や指をじっと見つめる						
↑ 0:06	2	鏡に映った自分を見て笑う（自分とは気づいていない）						
↑ 0:09	3	名前を呼ばれると時々反応することができる						
	4	顔を拭くと嫌がったり、顔をそむけたり、手をはらいのけたりする						
↑ 1:00	5	名前を呼ばれると確実に反応することができる						
↑ 1:06	6	鏡の中の自分にお辞儀をしたり、笑いかけたりして鏡を相手に遊ぶことができる						
	7	自分の欲しい物を手に入れようとすることができる						
↑ 2:00	8	母親の物、父親の物、自分の物の区別ができる						
	9	鏡の中の自分がわかる						
	10	要求が通らないと泣きわめいたりして表出する						
↑ 2:06	11	良い子、悪い子の区別ができ、自分を認めてもらおうとすることができます						
	12	自分の物を人に貸したがらないことがある						
	13	自分のことを自分の名前で呼ぶことができる						
↑ 3:00	14	自分や友だちの性を知っている						
	15	自分の持ち物に干渉されるとひどく怒ることがある						
	16	自分のことを「ぼく」「わたし」と言うことができる						

(備考)

＜人や物との関係（二項～三項関係）＞			年		年		年	
発達年齢	NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
↑ 0:03	1	あやすように声をかけたり、身体へ触れたりすると機嫌が良くなったり泣きやんだりすることができる						
	2	人の顔をじっと見つめることができる						
	3	音のする方や物を見たり、注意を向けたりすることができる						
↑ 0:06	4	そばを歩く人を追視することができる						
	5	そばにいる人の顔を見て表情を変えることができる						
	6	知らない人が来るとじっと顔を見て不安そうに表情を変える（人見知りをする）						
↑ 0:09	7	握らせるとガラガラなどの玩具を振ることができます						
	8	欲しい物に手を伸ばすことができる（握れなくても可）						
	9	目の前の玩具や転がるボールを目で追うことができる						
	10	母親とそうでない人を見分けることができる						
	11	両手に握った玩具を打ち合わせて楽しむことができる						
	12	落としたり視界から消えたりした玩具を探そうとすることができる						
	13	指差した方向を見ることができる						
	14	身近な人の顔の表情や声を真似することができる						
	15	物を何度も繰り返して落とし、「いけません」というと、手を引っ込みたり人の反応を見たりして遊ぶ						

	16	身近な人に声やしぐさで要求をすることができる						
	17	「ちょうどい」と要求されると握ったまま差し出すことができる						
	18	一緒に見ている本のページをめくったり指したりするなどのやりとりができる						
↑ 1:00	19	大人の視線を追って同じ物を見ることができる						
	20	要求されると人に物を渡すことができる						
	21	「ぱいぱい」や「さようなら」が身振りでできる						
	22	人が喜ぶ動作を繰り返してしてみせることができる						
	23	外や行きたい場所へ「行こう」と声やしぐさで要求することができる						
↑ 1:06	24	「上着とって」「新聞ちょうどい」など言葉による簡単な要求に適切にこたえることができる						
	25	周囲の人の簡単な動きを真似することができる						
↑ 2:00	26	特定の行動について、明確に「○○やって」と声やしぐさで要求することができる						
↑ 2:06	27	母親と離れることを嫌がるが、いったん離れると遊ぶことができる。						
↑ 3:00	28	人の関心を集めようとして、盛んにしゃべりかけたり大げさに甘えたりする						
	29	できたことに対して褒めることを催促する						
↑ 3:06	30	大人に対して反抗的な行動をとる						
↑ 4:00	31	大人に反抗的であるが、時々素直に応じることができる						
	32	ごっこあそびができる						
↑ 4:06	33	助けが必要なとき、近くにいる人に依頼することができる						
↑ 5:00	34	「○○していい」と許しを求め、相手に気をつかうことができる						

(備考)

<模倣>

発達年齢	NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
↑ 0:06	1	机を叩くなど簡単な模倣をすることができる						
↑ 0:09	2	「ぱいぱい」など簡単な身振りを真似することができる						
	3	名前を呼ばれると手を挙げて返事をすることができる						
	4	友だちや年上の子どもの遊びを真似て参加しようとする						
↑ 1:00	5	動物などの鳴き声などを大人と一緒に真似することができる（「ワンワン」「ブーブー」など）						
	6	玩具などを真似て動かすことができる（車を走らせる）						
↑ 1:06	7	大人の口調や様子を真似ようとする						
	8	やってみせることで1種類の型はめを正確にできる						
	9	乗り物ごっこをして遊ぶ（何かにまたがって乗るなど）						
	10	ジェスチャーで意思を伝えることができる（頭に両手を当てて帽子をしめすなど）						
↑ 2:00	11	他の子の遊びを真似することができる						

(備考)

＜集団活動への参加＞						
発達年齢	NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題
↑ 0:09	1	子ども同士で話しかけるような声を出すことができる				
↑ 1:00	2	他の子どもに玩具をとられると泣く				
	3	他の子どもの行動や発声を真似することができる				
↑ 1:06	4	子どもの中に混じっていると機嫌良く遊ぶことができる				
	5	子ども同士で玩具を取り合うことがある				
↑ 2:00	6	友だちと一緒にいても勝手に遊んでいる（一人遊び）				
	7	友だちと一緒に遊べないが、他の子どもの後をついて歩いたり、手をつなぎだりすることを喜ぶ				
↑ 2:06	8	友だちの名前がわかったり言えたりすることができる				
	9	友だちの遊びをじっと見たり、気になる素振りを見せたりすることがある				
	10	他の子どもの世話をしたがる				
↑ 3:00	11	人の関心を集めようとして、盛んにしゃべりかけたり大げさに甘えたりする				
	12	友だちを求める気持ちは強いが、仲間に入って遊べないことが多い				
↑ 3:06	13	自分でしたいのにできないと、人にするようにせがむことがある				
	14	友だちとけんかしたり、いじめられたりすると言いつけにくることがある				
	15	友だちとのつながりは弱いが、2～3人とは遊ぶことができる（平行遊び）				
↑ 4:00	16	友だちと玩具を取り合ってけんかがある				
	17	友だちの中に好き嫌いが出てくる				
↑ 4:06	18	大人に褒められることを喜び、得意になってして見せたり、説明したりする				
	19	大人に指導されて、ルールに従った集団遊びをする				
	20	じゃんけんなどの簡単なルールが理解できる				
	21	ぶらんこなどを友だちと順番に物を使うことができる				
↑ 4:06	22	大人との話し合いに加わることができる				
	23	8～9人の子どもと一緒に遊んでいるときに順番を待つことができる				
	24	2～3人の子どもと20分ぐらい協力して遊ぶことができる				
↑ 5:00	25	他人の嫌がることは人の前ではない				
	26	大人が終始見ていなくても3～4人の子どもと協力して遊ぶことができる				
↑ 5:06	27	他の子どもにゲームや遊びのルールを説明することができる				
	28	簡単なルールに従ってゲームをすることができる				
↑ 6:00	29	公共の場所では人に迷惑をかけないでいることができる				
	30	友だちが困っていると助けてやることができる				
(備考) 集団活動へ参加する際に環境への配慮が 必要・不要						
(日常生活からの気づき)						

◇環境の把握

＜感覚（視覚）＞			年		年		年	
発達年齢	NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
↑ 0:03	1	強い光には不快気に反応する（目を閉じる）						
	2	懐中電灯の光に反応する（目で光を追う・目を反らす）ことができる						
	3	視線の中央に入ってきた物を見つめる（固視）ことができる						
	4	コントラストのはっきりした物（白黒のうずまき）を両側45度まで追視することができる						
	5	移動する際、あたりをキヨロキヨロ見まわすことがある						
↑ 0:06	6	水平に動く玩具を180度まで目で追うことができる						
	7	垂直方向への追視ができる						
	8	目の前にある物を視線から外すと目で探すことができる						
	9	物を握り、目と手で調べるように手元を見る能够である						
↑ 0:09	10	左右2方向の物を追視（対追視）することができる						
	11	視界から外れた物を振り返ったり探ったりするように見ることができる						
	12	1cm以下のごく小さな物を見つめることができる						

（備考）注・追視：人の顔・白黒の渦・赤・黄・白など

＜感覚（聴覚）＞			年		年		年	
発達年齢	NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
↑ 0:03	1	大きな音や声で目の動きや動作を止めるようにして反応する（ホイッスルなど・50～90db）						
	2	大きな音に不快気に反応する						
↑ 0:06	3	紙やビニールなどのがさつく音を探すように頭を動かすことができる（すぐ横で紙の音をたてる）						
	4	名前を呼ばれたり話しかけられたりすると反応することができる						
	5	音源が認知でき、音のする方向へ顔を向けることができる						
	6	音を出す玩具を喜ぶ（日常会話・30～50db）						
	7	身近な人の声を聞き分けて反応することができる						
↑ 0:09	8	静かな音に興味を示すことができる（ささやき声）						

（備考）周囲の音や声に対して過剰な反応がない：聴覚過敏など

＜感覚（体性感覚）＞			年		年		年	
発達年齢	NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
↑ 0:03	1	手を握りしめている						
	2	手を開いたり閉じたりする						
	3	手に触れた物を握る（把握反射）						
	4	手を口に持っていってしゃぶる						
	5	自分の手の動きをじっと見つめる						
↑ 0:06	6	絡み合せた両手を見ながら遊ぶ						
	7	いろいろな物を口に持っていく						
	8	玩具を振ったり眺めたりすることができる						
	9	顔にかかったタオルを引っ張ることができる						

↑	10	手を伸ばして物をつかむことができる					
0:06	11	欲しい物がある方に這っていくことができる					
	12	玩具などを持ち替えて遊ぶことができる					
	13	片手ずつにそれぞれ玩具を持って遊んだり打ち合わせたりすることができる					
	14	片手で持てない大きさの物を両手でつかむことができる					
	15	握った物を投げ捨てる試みる(テーブルなどの上から下に落とすなど)					
	16	床にある物をつかむことができる					
↑	17	小さな物を大きな容器に落としたりして遊ぶ					
0:09	18	「熱い」「冷たい」がわかる					

(備考) 感覚に対して過剰な反応が見られない: 触覚・前庭覚・固有覚・味覚・嗅覚など

<知覚>

発達年齢	NO	チェック項目/ 備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
	1	玩具の車などを手で走らせることができる						
	2	少し大きめのボールを投げると投げ返すことができる						
	3	クレヨンで描こうとする(点描程度)						
↑	4	紐のついたお気に入りの玩具を引き寄せることができる						
1:00	5	食べ物の好き嫌いを示す(口から出す)ことができる						
	6	ねじ式でない箱などの蓋を開けたり閉じたりする						
	7	積み木を2個重ねることができる(2. 5cm程度)						
	8	コップからコップへ水を移すことができる						
	9	なぐり書きをすることができる						
	10	相手に投げ返すように意図的にボールを投げることができます						
↑	11	丸い穴の中に丸い積み木を入れることができます						
1:06	12	目的の場所に歩いていくことができる						
	13	紙をぐしゃぐしゃに丸めて折るしぐさができる						
	14	転がってくるボールを受け取ることができます						
	15	○△□の型はめができる						
	16	一枚ずつ絵本のページをめくることができます						
↑	17	積み木を5~6個重ねることができます						
2:00	18	横へ歩いたり、後ろへ歩いたりすることができます						
↑	19	手本を見て円や直線を描くことができます						
2:06								
	20	はさみを使って紙を切ることができます						
↑	21	手本を見て○△□などを書くことができます						
3:00	22	顔らしい物(目や口等がある)を描くことができます						
	23	黒板に絵を描いて遊ぶ						
	24	はさみで簡単な形を切り抜くことができます						
	25	糸巻きができる						
↑	26	利き手がほぼ決まっている						
3:06	27	簡単な文字などを模写することができます						
	28	粘土を丸めることができます						
	29	紙を直線に沿って切ることができます						
↑	30	はさみ、のり、紙を使って簡単な物を作ることができます						
4:00	31	指を順々に折ることができます						
↑	32	大きなボールを弾ませてつかむことができます						
4:06								

	33	折り紙（紙飛行機）を自分で折ることができる				
↑	34	ピンセットで小さな物（豆程度）をつまむことができる				
5:00	35	固結びができる				

(備考)

<認知>						
発達年齢	NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題
↑ 1:00	1	見た玩具を隠されても少しの間覚えておくことができる				
	2	白・黒（図・地）の区別がつく				
	3	食事の準備や外出など身近な出来事が起こることを予測することができる（お皿や帽子の準備など）				
	4	部屋の向こう側にいる大人の行為や言葉に注意を向けたり反応したりすることができる				
	5	タオルやコップなど身近な物の用途がわかる				
	6	絵本や人、動物などを指差しすることができる				
↑ 1:06	7	玩具を入れた棚の中の品物が記憶でき、取り出そうとすることができる				
	8	似ている簡単な物（ズボンやスカートなど）の違いがわかる				
	9	少なくとも5つの物を知っていて、その名称が言える				
	10	自分や人形の身体の一部（目・手など）を指差しできる				
	11	パンツが濡れたことを伝えることができる				
	12	離れたところに行って目的を果たして（玩具を言われた所に持って行くなど）帰ってくることができる				
↑ 2:00	13	自分の好きな方を取るなど、区別や選択等の簡単な判断ができる				
	14	自分と人形で会話をするようにして遊ぶことができる				
	15	1つという概念がわかる（「1つください」に応じる）				
	16	色や形によって物を分類できる				
	17	型はめを回転させても失敗せずにできる				
	18	上・下・前・後の身体の位置関係がわかる（「手を上に」ができれば可）				
↑ 2:06	19	3まで数えることができる（数唱）				
	20	学校や場面に応じて着替えるということがわかる				
	21	積み木・玩具・絵などを、ばらばらに分解したり組み合わせたしようとする				
	22	○と□の区別がつく				
↑ 3:00	23	物の大小の比較ができる				
	24	5まで数えることができる（数唱）				
	25	表・裏がわかる				
	26	「中に」「外に」「下に」という言葉が理解できる				
	27	2つという概念がわかる（「2つください」に応じる）				
	28	1日のいろいろな時間帯にいろいろな活動が行われることを知る（お昼やおやつなど）				
↑ 3:06	29	具体物や絵、形の一部を見ても全体がわかる				
	30	用途によって物を分けたりまとめたりすることができる				
	31	自分の名前を文字カードでつくることができる				
↑ 3:06	32	自分でつくった物や描いた物に命名する				
	33	赤・青・黄などの色の名前が確実にわかる				
	34	折り紙などをお金に例えて遊ぶことができる				

	35	好きな歌を歌う					
	36	10まで数えることができる（数唱）					
↑	37	数字やひらがなのひろい読みができる					
4:00	38	文字カードを組み合わせて単語をつくることができる					
	39	自分の名前を読むことができる					
	40	自分の身体で左右がわかる					
↑	41	バナナ→黄、リンゴ→赤など、色と物体を結びつけることができる					
4:06	42	自分の名前を平仮名で書くことができる					
↑	43	経験したことを絵に描くことができる					
5:00	44	空間や物で左右の区別ができる					
↑	45	「真ん中」「中ぐらい」がわかる					
	46	平仮名をだいたい読むことができる					
	47	日常生活を通して、「いま何時」など、時刻について関心を持つ					
↑	48	日常の挨拶や伝言、報告ができる（〇〇があったよなど）					

(備考)

<探索>								
発達年齢	NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
	1	目の前にある物を視線から外すと探すことができる						
	2	握った物を観察することができる						
↑	3	いろいろな物を口に持っていく						
0:06	4	身近な大人の顔をいじるように触る						
	5	落とした物を探すことができる						
	6	玩具にかけられた布を取り除くことができる						
↑	7	箱の中に入れた物を探すことができる						
	8	引き出しを開けていろいろな物を引き出すことができる						
↑	9	戸を開けることがわかる						
1:00	10	回さずにとれる箱や瓶などのふたを開けることができる						
	11	回さずにとれる瓶などのふたを開けたり閉めたりすることができる						
	12	高いところから物を落とすことを数回繰り返して遊ぶ						
	13	ドアを一人で開け閉めすることができる						
↑	14	型はめをして見せると、手でいじり回して試みようとすることができる						
	15	新しい場所や教室に行くと興味を持ってのぞき回る						
	16	いすを使って高いところから欲しい物が取れる						
↑	17	大人が言い聞かせたことに対して、危険を察知して近づかないでいることができる						
2:00	18	身の回りにある物や動植物に目を向け、興味を示す						
↑	19	周囲や物を叩いたり振ったりして調べ回る						
	20	身近な事物に関心を持ち、触ったり集めたり並べたりする						
↑	21	遊んでいる道具が見えなくなったら探すことができる						

(備考)

(日常生活からの気づき)

◇身体の動き

＜筋緊張＞			年	年	年
NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題
1	身体全体や各部位に不適切な筋緊張（過緊張）がない				
2	身体全体や各部位に不適切な筋緊張（低緊張）がない				

(備考) 不適切な筋緊張の部位：全体・体幹・首・肩・上肢（腕・肘・手首・指）・下肢（股・膝・足首）など

＜反射（原始姿勢反射）＞			年	年	年	
発達年齢	NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題
	1	把握反射が見られない				
	2	足底把握反射が見られない（足裏に刺激→脚を引きこむ）				
	3	交差伸展反射が見られない（足裏に刺激→片脚屈曲後、交差して伸展）				
↑ 0:03	4	自動歩行反射が見られない（新生児歩行、床に足をつけ、前傾させると脚を交互に動かす）				
	5	緊張性迷路反射が見られない				
	6	モロー反射が見られない				
	7	緊張性頸反射が見られない				
	8	引き起こし反射が見られる（仰臥位から手をつないで起こした際に肘を曲げて引き起こしに協力する）				
↑ 0:06	9	立ち直り反射が見られる（首・体幹・迷路・視性）				
↑ 0:09	10	パラシュート反応が見られる（平衡反応）				
	11	傾斜反応が見られる（平衡反応）				

(備考)

＜頭部と体幹の保持＞			年	年	年	
発達年齢	NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題
	1	手足を動かすことができる（不随意的で可）				
	2	仰臥位で寝ているとき、首の向きを左右に変えることができる				
	3	腹臥位で頸を少しだけ持ち上げることができる				
	4	肘立て腹臥位で頭部を30秒程度持ち上げることができる				
↑ 0:03	5	仰臥位から座位に身体を起こした後、頭部を保つことができる				
	6	肘立て腹臥位にすると胸を床から離すことができる				
	7	仰向けで頭部を自由に動かすことができる				
	8	肘立て腹臥位で頭を上げたり下げたりすることができる				
↑ 0:06	9	腹臥位にすると頭と肩を持ち上げることができる（腕立て腹臥位ができる）				

(備考)

＜寝返り・四つ這い位＞			年	年	年	
発達年齢	NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題
↑ 0:03	1	仰臥位から片方の肩を上げることができる				
	2	仰臥位から横向きへ90度寝返ることができる				
	3	横向きにすると腹臥位になることができる				
	4	仰臥位から腹臥位へ寝返りをすることができる				

↑ 0:06	5	腹臥位から横向きになることができる					
	6	腹臥位から仰臥位へ寝返りをすることができる					
↑ 0:09	7	連続して寝返りをすることができる					
	8	腹臥位で後に進むことができる					
	9	四つ這い位を保持することができる（四点支持であるがまだ動けない）					
	10	片手と両脚の三点で支えた四つ這い位を保持することができる					
	11	両手と片脚の三点で支えた四つ這い位を保持することができる					
	12	短い距離を四つ這いで移動ができる					
↑ 1:00	13	マットや段差の山を這ってよじ登ったり越えたるすることができます					
	14	どこまでも這って移動することができます					
	15	階段を這って昇ることができます					
	16	階段を後ろ向きで這って降りることができます					

(備考)

<座位>								
発達年齢	NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
↑ 0:03	1	援助を受けて少しの間座位を保持することができます						
↑ 0:06	2	支えがあればしばらくは座位を保持することができます						
	3	支えられると少しの間座位を保持しながら活動に取り組むことができる（5分間程度）						
	4	両手で支えながら1～2分間程度座位を保持することができます						
↑ 0:09	5	支えなしで一人で座位を保持することができます						
	6	一人で10分以上座位を保持することができます						
	7	臥位～座位へ姿勢変換できる						
	8	座位～臥位へ姿勢変換できる						
↑ 1:00	9	座位で移動することができます						
	10	いすの上から床に降りることができます						
	11	床からいすに座ることができます						
↑ 1:06								
↑ 2:00	12	一人でいすに座ることができます						

(備考) 援助や補助の量：全身 → 頭部・体幹・腰 → 体幹・腰 → 腰のみ

<膝立ち位>							
NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
1	援助を受けて少しの間膝立ち位を保持することができます						
2	支えられると少しの間膝立ち位を保持しながら活動に取り組むことができます						
3	支えなしで一人で数秒程度なら膝立ち位を保持することができます						
4	一人で数十秒程度膝立ち位を保持することができます						
5	援助を受けて少しの間片膝立ち位を保持することができます						

	6	支えなしで一人で数秒程度なら片膝立ち位を保持することができる					
--	---	--------------------------------	--	--	--	--	--

(備考)

<立位>			Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
発達年齢	NO	チェック項目／備考						
↑ 0:03	1	両脇を支える援助をして立たせ、足底に刺激が入力されると足を引っこめてしまうことはない						
	2	両脇を支える援助をして立たせ、前方に重心移動すると一瞬両脚を突っ張るようにして立つ						
↑ 0:09	3	両脇を支える援助をして立たせると体重を脚にかけて立とうとすることができます						
	4	両腕（肘）の援助で立位を保持することができます						
↑ 1:00	5	机や台につかまって立位を保持することができます						
	6	机や台につかまって一人で立ち上がることができます						
↑ 1:06	7	一人で（支えがなくても）5～10秒間程度立位を保持することができます						
	8	両手を使わずに（支えがなくても）座位から立ち上がることができます						
	9	立位から座り込むことができます						

(備考) 援助や補助の量：全身 → 体幹・腰・膝 → 腰・膝 → 膝のみ

<歩行>			Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
発達年齢	NO	チェック項目／備考						
↑ 0:09	1	(つかまり立ちから) 横方向へ伝い歩くことができる						
	2	両手を援助することで脚を交互に前に踏み出して歩くことができる						
↑ 1:00	3	歩行器（ウォーカー・ゲートトレーナー）につかまって前に歩き出すことができる						
	4	両手を触っている程度の援助で、離れたところまで歩くことができる（手は引かない）						
↑ 1:06	5	片手引きで歩くことができる						
	6	一人で2～3歩程度歩くことができる						
↑ 2:00	7	室内で安定した歩行ができる						
	8	靴を履いて外を歩くことができる（2.00m程度）						
↑ 2:00	9	自分の立っているところで向きを変えることができる						
	10	後方へ歩く（後ずさりする）ことができる（3歩程度）						
↑ 2:00	11	小さな凸凹をまたぐことができる						
	12	20分程度歩くことができる						
↑ 2:00	13	ぎこちないが転ばずに走ることができます						
	14	障害物をまいたり、くぐったりすることができます						
↑ 2:00	15	線の上をまっすぐに歩くことができます						
	16	両脚でその場跳びをすることができます						

(備考)

<階段昇降>			Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
発達年齢	NO	チェック項目／備考						
	1	手を援助することで、階段を足をそろえて昇ることができます						

	2	手を援助することで、階段を足をそろえて降りることができる					
	3	手すりにつかりながら、階段を足をそろえて昇り降りすることができる					
↑ 1:00	4	手すりにつかりながら、足を交互に出して階段を昇り降りすることができる					
	5	階段を一段ごとに足をそろえながら一人で昇り降りすることができる					
↑ 1:06	6	小高い山を歩いて登ることができる					
↑ 2:00	7	はしごの昇り降りができる（5段程度、滑り台など）					
2:06	8	高さ20cmの箱いす（台）に昇ることができます					
↑ 2:06	9	足を交互に出しながら階段を一段ごとに昇ることができます					
↑ 3:00							
↑ 3:06							
↑ 4:00	10	足を交互に出しながら階段を一段ずつ降りることができます					

(備考)

＜握る・つまむ＞								
発達年齢	NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
	1	手を固く握りしめている						
	2	触れた物を瞬間的に握る						
↑ 0:03	3	玩具等が手に触れると、少しの間小指側（尺側）で握っていることができる						
	4	玩具等を小指側（尺側）で握ることができます						
	5	玩具等（積み木）を渡されると親指以外の4指（熊手型）で握ろうとすることができる						
↑ 0:06	6	玩具等（積み木）を渡されると手指と手掌で囲むようにして握ることができます						
	7	積み木を握ると第1指～第3指と主掌と親指側（桡側）で囲むようにして握ることができます						
	8	小さな物を第1指と第2指の側面でつまむことができる						
↑ 0:09	9	積み木を第1指を対向位にして主掌には触れず第1指～第3指の指腹でつかむことができる						
	10	小さな物を第1指と第2指の指腹でつまみ、主掌を机につけたままで持ち上げることができます						
↑ 1:00	11	小さな物を主掌を机から離してつまみ上げることができます						

↑ 1:06	12	第1指と第2指の先の方で針金程度の細い物ををつまむことができる					
	13	鉛筆を回外位で握ることができる					
	14	鉛筆を回内位で握ることができる					
↑ 2:00							
↑ 2:06							
↑ 3:00	15	鉛筆を第1指～第3指の3指で持ち、肘や手首を動かして書くことができる					

(備考)

＜上肢の操作＞								
発達年齢	NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
↑ 0:06	1	片方の手を前に伸ばすことができる						
	2	目的の物に手を伸ばすことができる						
	3	片手から片手へ物を持ち替えることができる						
↑ 0:09	4	手や持っている物で机や台を叩くことができる						
	5	転がったボールに手を伸ばすことができる						
	6	引き出しを開けることができる（引く動作ができる）						
	7	両手を合わせて拍手ができる						
	8	両手で物（カップ）を持つことができる						
	9	手で前方に押すことができる						
	10	腕を肩より上に上げて物を取ることができます（頭の高さにある物を手を伸ばして取る）						
↑ 1:00	11	正中線を越えて腕を動かすことができる（玩具の車を手で走らせるように動かす）						
	12	第2指で物をつついたり、押したりすることができます						
	13	容器の中の小さな物をつまむことができる						
	14	つまんだ物を容器の中に入れることができます						
	15	小さな（2. 5cm程度）積み木を片手で2個重ねることができます						
↑ 1:06	16	引き戸を開けたり閉めたりすることができます						
	17	2本のバチで太鼓を交互に叩くことができます						
	18	玩具や瓶の蓋をねじることができます						
	19	小さな（2. 5cm程度）積み木を4～6個重ねることができます						
↑ 2:00	20	先の固い紐を穴に通すことができます（直径2. 5cm程度の穴）						
	21	ドアの取っ手を回すことができます（回外できる）						
↑ 2:06	22	ノートや本のページを1枚ずつめくることができます						
	23	粘土をちぎる、丸めるができます（おおよそで可）						
↑ 3:00	24	紙や布を半分に折ることができます						
	25	両手を使ってブロックを積み重ねることができます						
↑ 3:06	26	近くから相手が投げた大きめのボールを両手で受け取ることができます						
	27	ボタンをはめることができます						

(備考)

＜日常生活動作（食事動作・更衣動作）＞									
発達年齢	NO	チェック項目／備考		Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
↑ 0:09	1	手づかみで物を食べることができる							
↑ 1:00	2	スプーンですくって物を食べようとすることができる							
↑ 1:06	3	あまりこぼさずにスプーンを使うことができる							
↑ 2:00	4	箸を使って食べようとすることができる（握り箸で可）							
	5	靴下や靴を脱ぐことができる							
	6	スプーンや箸を持っている反対の手で食器を持って食べ ることができる							
↑ 2:06	7	パンツを一人で脱ぐことができる							
	8	かぶり型の服を脱ぐことができる							
↑ 3:00	9	かぶり型の服を着ることができます							
	10	靴を履くことができる							
	11	ボタンの留め外しができる							
	12	前開き型（ボタン・ファスナー）の衣服の着脱ができる							
↑ 3:06	13	ズボンの着脱ができる							
	14	靴下を履くことができる							
(備考)									
(日常生活からの気づき)									

◇コミュニケーション

＜表出（発声・発語）＞			年		年		年	
発達年齢	NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
↑ 0:03	1	泣き、しゃっくり、咳、くしゃみ等に併せて発声することができる						
	2	不快な時に違う泣き方や不快な表情を表すことができる（表情・発声・視線など）						
	3	嬉しいときに快の表情を表したり、一人笑いをしたりすることができる（表情・発声・視線など）						
↑ 0:06	4	気に入らないと「ウーウー」などと声を出して怒りを表すことができる。						
	5	「アー」「オー」「ウー」など声を出すことができる						
↑ 0:09	6	いろいろな発音を繰り返して楽しむことができる（囁語活動がさかんになる）						
	7	「アムアム」「ウマウマ」など母音と子音を組み合わせて言うことができる						
↑ 1:00	8	話しかけるような調子でめちゃくちゃな言葉で話しかけることができる						
	9	絵本を見ながら、一人で意味のないことをしゃべりかけることができる						
↑ 1:06	10	大人が話す声などを真似して、繰り返すことができる						
↑ 2:00	11	独り言を言って遊ぶ						
↑ 2:06	12	かなり流暢におしゃべりをすることができる						
↑ 3:00	13	遊びながら絶えずしゃべっている						
↑ 3:06	14	言葉の繰り返しがなくなる						
↑ 4:00	15	発音をほとんど間違えないで話すことができる						
	16	ひとつの文を正しく真似して言える						
	17	ささやき声ができる						

(備考)

＜表現（会話）＞			年		年		年	
発達年齢	NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
↑ 0:06	1	人に向かって声を出すことができる						
↑ 0:09	2	呼びかけるとたまに返事をすることができる						
↑ 1:00	3	手を振るなどの身振りができる						
↑ 1:06	4	名前を呼ばれると「はい」と返事をすることができる						
↑ 2:00	5	二語文を使うことができる						
↑ 2:06	6	「なあに」と聞くことができる						
	7	三語文を使うことができる						
	8	「どうして」「だれ」など聞くことができる						

↑ 3:00	9	自分のことを「ぼく」「わたし」と言って話すこと ができる					
↑ 3:06	10	電話ごっこで対応することができる					
	11	絵本を見ながらいろいろなことを話し合うことができる					
↑ 4:00	12	眠いとき、お腹がすいたとき、寒いときにはどうしよう かの質問にひとつは正しく応答することができる					
↑ 4:06	13	体験したことばかりを話す					
	14	「～ので」「～のに」「～けど」などの助詞を使って二つ の文をつなげて話すことができる					
↑ 5:00	15	自分の家の住所を言うことができる					
	16	自分の家の電話番号を言うことができる					
	17	易しいなぞなぞができる					
↑ 5:06	18	毎日の出来事を話すことができる					
	19	「なぜ」という質問に、その理由を答えることができる					
	20	「～だったら」などの仮定形を使って話すことができる					
	21	聞き慣れない言葉の意味を尋ねることができる					
↑ 6:00	22	相手に応じ、経験したことなどについて、事柄の順序を 考えながら話すことができる					

(備考)

<表現（構音器官）>

発達年齢	NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
↑ 0:03	1	元気よく吸うことができる						
	2	指や手をしゃぶることができる						
	3	玩具を舐めたりすることができます						
↑ 0:06	4	コップを口元に持つていってやると、コップから飲むこ とができる（息継ぎ）						
↑ 0:09	5	口を開いたり閉じたりすることができます						
	6	口の構えをつくることができる						
↑ 1:00	7	唇を閉じることができます						
	8	涎がほとんどでない（鼻呼吸）						
	9	笛・ラッパを上手に吹くことができます						
↑ 1:06	10	ピスケットを少しずつ噛みながら食べることができます (舌の調節)						
↑ 2:00	11	ストローを使って飲むことができます（息の調節）						
↑ 2:06	12	シャボン玉の大きさを調節することができます（息の調節）						
↑ 3:00	13	ブクブクうがいができる（頬の動き）						

(備考) 課題の部位：口唇・顎・口蓋・頬・舌・歯・緊張・鼻呼吸・腹式呼吸など

<言語理解（語彙）>

発達年齢	NO	チェック項目／備考	Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
↑ 0:06	1	自分の名前を呼ばれると反応することができます（動きを とめる、向くなどで可）						
↑ 0:09	2	「ワンワン」など身近な言葉が一語程度わかる						

	3	「パパどこ?」「ママは?」「ブーブーどこ?」と聞くとそちらを向くことができる					
	4	「ワンワンは?」「ブーブーは?」などというとそちらを指差すことができる					
↑	5	母親や食べ物のことを「ママ」「マンマ」と言うことができる					
1:00	6	語彙数が3~4語である					
	7	目・耳・口など身体の部分が3~4つわかる					
	8	犬・靴・茶碗・家などの言葉を聞いて、ひとつ以上正しく絵を指差すことができる					
↑	9	絵を見て知っている物の名前を言うことができる					
1:06	10	空間を表す言葉を使うことができる(上下前後など)					
	11	「もうひとつ」「もう少し」がわかる					
	12	人形を見せて「口は?」などと聞くと、身体の部分をほとんど指差すことができる					
↑	13	語彙数が100~200語である					
	14	物の名前を聞いて、その絵を指すことができる(15個程度)					
↑	15	数を表す言葉を使うことができる(ひとつ・ふたつ・たくさんなど)					
	16	身近な品物の名前を聞いて、その絵を指すことができる(25個程度)					
↑	17	絵本の中の名称を7つ以上言うことができる					
	18	高い・低いがわかる					
↑	19	語彙数が250~800語である					
3:06	20	色の名前を10以上言うことができる					
↑	21	果物・動物などの言葉(抽象名詞)がわかる					
4:00	22	語彙数が1500語である					
↑	23	昨日や明日など過去・未来を表す言葉がわかる					
4:06							
↑	24	「一番多い」「一番少ない」の意味がわかる					
5:00	25	最初の音が同じ言葉を言うことができる					
↑	26	なぞなぞができる					
5:06							
↑	27	クレヨン・いすなどの単語の意味が理解できる					
6:00							

(備考)

<伝達>			Y/N	課題	Y/N	課題	Y/N	課題
	NO	チェック項目/ 備考						
↑	1	表情や発声、視線で要求を表そうとすることができる						
0:03								
↑	2	物へ手を伸ばして、要求を伝えようとすることができる						
0:06								
↑	3	手を伸ばすことで、要求の対象を選択することができる						
0:09	4	「イヤ」という気持ちを伝えることができる						
↑	5	手渡しをしたり、大人の手を引いたりすることで要求の対象物を明確に伝えることができる						
1:00								
	6	指差しで要求を伝えることができる						
	7	指差しで要求の対象を選択することができる						

↑	8	様々な意味の指差しをすることができる					
1:06	9	身振りやサインで要求を伝えることができる					
	10	言葉で要求を伝えることができる					
↑	11	いろいろな場面で様々な要求を伝えることができる。(物 ・ちょうどい・行為・所有・参加など)					
(備考) 使用する代替手段: 具体物・写真・カード・サイン・AT・情報機器(PC・インターネット)など							
(日常生活からの気づき)							

◆課題整理シート◆

①チェックリストで挙げられた指導事項

②特に重要と考えられた指導事項・チェック項目No.

③の課題の中から選択し、自立活動や各教科など指導場面(指導の形態)をイメージしながら相互に関連づける

③指導の形態への振り分け(指導事項・チェック項目No.で記入)

<自立活動>	<日常>	<生活学習・生活>	<各教科>
<教育活動全体>			

④導かれる具体的な指導目標

◆引用・参考文献◆

- 1) 文部科学省／特別支援学校学習指導要領解説一自立活動編／海文堂出版
- 2) 文部省／肢体不自由児の養護・訓練の指導／社会福祉法人日本肢体不自由児協会
- 3) 早期発達診断検査
- 4) 遠城寺宗徳／遠城寺式乳幼児分析的発達検査／慶應通信
- 5) ポーテージ乳幼児教育プログラム
- 6) 上田礼子／日本版デンバー式発達スクリーニング検査／医歯薬出版株式会社
- 7) 小林芳文／MEPA-II乳幼児と障害児の感覚運動発達アセスメント／コレール社
- 8) 旭出学園教育研究所・日本心理適正研究所／新版S-M社会生活能力検査／日本文化科学社
- 9) 津守真・稻毛教子／乳幼児精神発達診断法0才～3才まで／大日本図書
- 10) 徳永豊／学習到達度チェックリスト
- 11) 熊本県立苓北養護学校／重度・重複障害児の発達段階調査票
- 12) 国立特殊教育総合研究所／心身障害児の発達状態調査
- 13) 長崎県立野崎養護学校／チェックリスト
- 14) 長崎県立佐世保養護学校／実態把握チェックリスト
- 15) 長崎県立長崎特別支援学校／実態把握チェックリスト（試案）
- 16) 田中昌人／子どもの発達と診断
- 17) 西村章次／実践と発達の診断表
- 18) 岡本夏木／乳児の世界
- 19) 新井清三郎／目で見る発達診断
- 20) 新井清三郎／視行動の発達／日本小児医事出版社
- 21) 本郷一夫／シードブック発達心理学 保育・教育に活かす子どもの理解／建白社
- 22) 長崎勤・小野里美帆／コミュニケーションの発達と指導プログラム／日本文化科学社
- 23) 岩崎清隆／発達障害と作業療法〔基礎編〕／三輪書店
- 24) 岩崎清隆・岸本光夫／発達障害と作業療法〔実践編〕／三輪書店
- 25) 松本和子／動きづくりのリハビリテーション・マニュアル（上肢編）／中央法規
- 26) 手の使い方指導研究会編／障害児のための新・手の使い方の指導／かもがわ出版
- 27) 厚生労働省／保育指針

発達段階評価表

		~0:03	~0:06	~0:09	~1:00	~1:06	~2:00	~2:06	~3:00	~3:06	~4:00	~4:06	~5:00	~5:06	~6:00	
健康の保持	覚醒と睡眠															
	体温の調節															
	脈拍															
	呼吸・排痰															
	食事															
	排泄															
	清潔・衛生															
な心理的定的	周囲の状況や危険への対応															
	病気の予防・健康状態の把握															
	情緒	1:2:3:4:5:6:7	8:9:10:11	12:13:14:15:16	17:18:19:20:21:22	23:24:25:26	27:28:29					30	31			
人間関係の形成	気持ちは安定															
	注意の集中															
	自己意識	1:2	2	3:4	5	6:7	8:9	10	11:12:13	14:15:16						
	人や物との関係 (二項～三項関係)	1:2:3:8:9	4:5:6:7:10:11:12:13:18:19:24:	14:15:16:17:20:21:22:23:25:26		27	28:29	30	31:32	33	34					
環境の把握	模倣		1	2	3:4:5	6:7	8	9:10	11							
	集團活動への参加			1	2:3	4	5	6:7	8:9:10	11:12	13:14:15:16:17:18:19:20:21:22:23:24:25:26	27	28	29	30	
	感覚（視覚）	1:2:3:4:5:6	7:8:9:10:11:12													
	感覚（聴覚）	1:2	3:4:5:6:7:8													
	感覚（体性感覚）	1:2:3:4:5:6:10:11:12:13:14:15:16:17:18:19:20:21:22:23:24:25:26:27:28:29:30:31:32:33:34:35:36:37:38:39:40:41:42:43:44:45:46:47:48														
	知覚			1:2:3:4:5:6:10:11:12:13:14:15:16:17:18:19:20:21:22:23:24:25:26:27:28:29:30:31:32:33:34:35:36:37:38:39:40:41:42:43:44:45:46:47:48												
身体の動き	認知				1:2:3:4:5:6:11:12:13:14:15:16:17:18:19:20:21:22:23:24:25:26:27:28:29:30:31:32:33:34:35:36:37:38:39:40:41:42:43:44:45:46:47:48											
	探索		1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11:12:13:14:15:16:17:18:19:20:21													
	筋緊張															
	反射（原始姿勢反射）	1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11														
	頭部と体幹の保持	1:2:3:4:5:6:7:8:9														
	寝返り・四つ這い	1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11:12:13:14:15:16														
	座位	1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11:12														
	膝立ち位															
	立位	1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11:12:13:14:15:16:17:18:19:20:21:22:23:24:25:26:27:28:29:30:31:32:33:34:35:36:37:38:39:40:41:42:43:44:45:46:47:48														
	歩行		1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11:12:13:14:15:16:17:18:19:20:21:22:23:24:25:26:27:28:29:30:31:32:33:34:35:36:37:38:39:40:41:42:43:44:45:46:47:48													
	階段昇降			1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11:12:13:14:15:16:17:18:19:20:21:22:23:24:25:26:27:28:29:30:31:32:33:34:35:36:37:38:39:40:41:42:43:44:45:46:47:48												
	握る・つまむ	1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11:12:13:14:15:16:17:18:19:20:21:22:23:24:25:26:27:28:29:30:31:32:33:34:35:36:37:38:39:40:41:42:43:44:45:46:47:48														
	上肢の操作		1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11:12:13:14:15:16:17:18:19:20:21:22:23:24:25:26:27:28:29:30:31:32:33:34:35:36:37:38:39:40:41:42:43:44:45:46:47:48													
	日常生活動作 (食事動作・更衣動作)			1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11:12:13:14:15:16:17:18:19:20:21:22:23:24:25:26:27:28:29:30:31:32:33:34:35:36:37:38:39:40:41:42:43:44:45:46:47:48												
コミュニケーション	表出（発声・発語）	1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11:12:13:14:15:16:17:18:19:20:21:22:23:24:25:26:27:28:29:30:31:32:33:34:35:36:37:38:39:40:41:42:43:44:45:46:47:48														
	表現（会話）		1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11:12:13:14:15:16:17:18:19:20:21:22:23:24:25:26:27:28:29:30:31:32:33:34:35:36:37:38:39:40:41:42:43:44:45:46:47:48													
	表現（構音器官）	1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11:12:13:14:15:16:17:18:19:20:21:22:23:24:25:26:27:28:29:30:31:32:33:34:35:36:37:38:39:40:41:42:43:44:45:46:47:48														
	言語理解（語彙）			1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11:12:13:14:15:16:17:18:19:20:21:22:23:24:25:26:27:28:29:30:31:32:33:34:35:36:37:38:39:40:41:42:43:44:45:46:47:48												
	伝達	1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11:12:13:14:15:16:17:18:19:20:21:22:23:24:25:26:27:28:29:30:31:32:33:34:35:36:37:38:39:40:41:42:43:44:45:46:47:48														
		~0:03	~0:06	~0:09	~1:00	~1:06	~2:00	~2:06	~3:00	~3:06	~4:00	~4:06	~5:00	~5:06	~6:00	